

## 児童・生徒質問紙調査から見られる傾向

富士市の子どもたちは、学校や家庭、地域の皆様の温かい支援のもと、思いやりがあり、人との関わりを大切にできる人に育っていることがうかがえます。しかし、全国と比べて自己肯定感が高いとは言えません。今後も、さらに子どもたちが自分のよさや活躍の場に気付けるように、認め、励ましていきましょう。

※（ ）は全国平均

◆学級生活をよりよくするために話し合う

小6 86.0% (84.2)

中3 88.3% (86.3)

◆人が困っていたら進んで助ける

小6 93.5% (92.7)

中3 89.6% (90.1)

◆人の役に立つ人間になりたい

小6 94.8% (95.9)

中3 94.9% (95.2)

◆いじめはどんなことがあってもいけない

小6 96.4% (96.7)

中3 95.5% (95.7)

◆友達関係に満足している

小6 92.1% (91.1)

中3 90.6% (90.1)

◆自分にはよいところがある

小6 81.1% (84.1)

中3 80.6% (83.3)



## 「教科に関する調査」と「児童・生徒質問紙調査」から見られる傾向

児童・生徒質問紙調査の回答と平均正答数の関係を調べると、主体的・計画的に学習に取り組んでいる児童生徒は、平均正答数が多い傾向にあります。

「授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の回答と平均正答数（中学3年生）

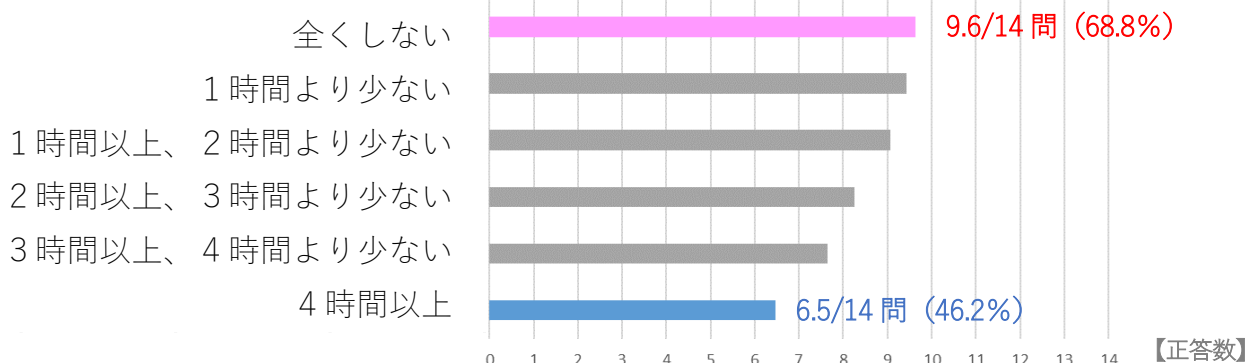
|            | 「当てはまる」と回答した生徒    | 「当てはまらない」と回答した生徒 |
|------------|-------------------|------------------|
| 「国語」の平均正答数 | 9.9/15 問 (65.9%)  | 5.5/15 問 (36.7%) |
| 「数学」の平均正答数 | 10.6/16 問 (66.0%) | 4.4/16 問 (27.2%) |

「普段、1日当たりどれくらいテレビゲーム※をするか」の回答と平均正答数（小学6年生）

※テレビゲームには、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含まれます。

【時間区分】

算数の平均正答数



学校とともに家庭での働き掛けが、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。このため、学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支えていきましょう。